

「ロンドン会議と浜口雄幸内閣」 関係年表

明治 3	1870	10. 2 海軍は「英式」陸軍は「仏式」と定める	昭和 5	1930	3. 31 加藤寛治軍令部長、帷幄上奏を企て鈴木貫太郎侍従長にたしなめられる
22	1889	2. 11 大日本帝国憲法公布			4. 1 回訓案を閣議決定、全権団に打電
33	1900	9. 15 政友会結成。初代総裁に伊藤博文			4. 21 帝国議会召集。統帥権干犯問題◆軍令部、海軍省に「条約不同意」を通告
37	1904	2. 10 日露戦争始まる			4. 22 ロンドン条約調印
38	1905	5. 27 日本海海戦。バルチック艦隊を破る			4. 25 幣原外相の議会演説、伏見宮、東郷平八郎元帥を怒らせ、条約破棄を主張
大正 1	1912	12. 5 第2次西園寺内閣、陸相辞職で総辞職			5. 20 草刈英治海軍少佐、寝台車内で自殺
2	1913	2. 10 「大正政変」。第3次桂内閣総辞職へ			6. 10 加藤軍令部長、反対上奏。天皇に辞表
		12. 23 立憲同志会結党。総裁に加藤高明			7. 23 海軍軍事参議官会議開く。「国防上ほぼ支障なきを得る」と答申
3	1914	7. 28 第1次世界大戦始まる			8. 18 枢密院でロンドン条約第1回審査会。反対派顧問官で固められ「政変説」も
		8. 23 日本、ドイツに宣戦布告			9. 一 橋本欣五郎陸軍中佐「桜会」結成
6	1917	9. 12 日本、大蔵省令で金の輸出禁止			10. 1 枢密院本会議でロンドン条約可決
7	1918	11. 11 ドイツ降伏。第1次世界大戦終わる			10. 2 ロンドン条約批准
10	1921	11. 4 原敬首相、東京駅で暗殺される			11. 14 浜口首相、東京駅で狙撃され重傷
		11. 12 ワシントン会議始まる			11. 15 臨時首相代理に幣原外相
		12. 15 主力艦比率「五・五・三」決定し発表			1. 22 浜口首相退任
11	1922	2. 6 ワシントン条約調印			2. 3 衆院予算総会、幣原失言で流会
		8. 5 日本、ワシントン条約を批准			2. 6 院外団、議場に乱入し流血騒ぎ
12	1923	9. 1 関東大震災			2. 19 幣原、「浜口は3月には登院できる」
昭和 2	1927	3. 15 渡辺銀行休業。金融恐慌始まる	6	1931	3. 一 橋本中佐らクーデター計画(三軒)
		6. 1 民政党結成。総裁に浜口雄幸			3. 10 浜口首相、病体を押し議会に出席
		6. 20 ジュネーブ軍縮会議。失敗に終わる			4. 4 浜口再入院。開腹手術が必要に
3	1928	6. 4 張作霖爆殺事件			4. 13 浜口内閣総辞職。首相在任1年9か月
4	1929	7. 1 田中義一内閣総辞職			4. 14 第2次若槻礼次郎内閣成立
		7. 2 浜口雄幸内閣成立			8. 26 浜口雄幸死去。61歳
		7. 8 「協調」「軍縮」の緊急施政方針発表			9. 18 満州事変始まる
		10. 7 英、日本にロンドン会議参加を要請			9. 21 イギリス、金本位制から離脱
		10. 15 官吏の1割減俸発表。(22日 撤回)			12. 13 犬養毅内閣成立。金輸出再禁止
		10. 16 日本、ロンドン会議参加を回答			2. 9 血盟団員、前蔵相井上準之助を射殺
		10. 18 首席全権若槻礼次郎など全権団任命			5. 15 五・一五事件。犬養毅首相射殺
		10. 24 ニューヨーク株式大暴落。世界恐慌			1. 9 海相に大角岑生。条約派一掃人事
		11. 21 政府、新年からの金解禁発表			3. 27 日本、国際連盟を脱退
		11. 26 「補助艦対米7割」要求など閣議決定			12. 29 日本、ワシントン条約の廃棄通告
5	1930	1. 11 金解禁。日本、金本位制に復帰	7	1932	1. 15 日本、ロンドン条約の脱退通告
		1. 21 ロンドン会議始まる			2. 26 二・二六事件
		2. 20 総選挙で民政党大勝			1. 1 海軍、自由建艦競争時代に入る
		3. 13 「日米妥協案」纏る。補助艦保有量は対米6割9分7厘5毛	8	1933	7. 7 支那事変始まる
		3. 14 若槻全権「日米妥協案で協定」を請訓			9. 1 第2次世界大戦始まる
		3. 16 若槻、幣原喜重郎外相に電報。全権辞職の覚悟で政府の決断を迫る	9	1934	12. 8 太平洋戦争始まる
		3. 17 軍令部「妥協案反対」の海軍当局声明	11	1936	
		3. 25 浜口首相、妥協案で協定を決意	12	1937	
		3. 27 浜口参内し、天皇に経過を説明	14	1939	
			16	1941	